

# 説教

## 「キリストに倣う」

あなたがたはひどい苦しみの中で、聖霊による喜びをもって御言葉を受け入れ、わたしたちに倣う者、そして主に倣う者となりました。 I テサ1:6

# パウロとテサロニケの信徒との友情

- 「恵みと平和が、あなたがたにあるように。」（1節）
- テサロニケは現在のギリシアの北方、エーゲ海に面した港町。東西交通の要衝として栄えた。
- パウロはテサロニケの信徒たちを愛し、誇りに思っていたことが伝わってくる。
- パウロ達はコリント（アテネ）滞在中に、テサロニケの信徒たちが神と主イエス様のうちにあり、しっかりと結ばれていることを聞いていた。

# テサロニケの人々のために祈る

- 「わたしたちは、祈りの度に、あなたがたのことを思い起こして、あなたがた一同のことをいつも神に感謝しています。」  
(2節)
- 祈るたびにテサロニケの信徒たちのことを神に感謝している。それはテサロニケの信徒たちの信仰や行いを良く知っていた。
- 私たちも兄弟姉妹や他の教会のことを祈っている。
  - ✓できれば具体的に祈りたい。
  - ✓しかし具体的なことが分からなくても神に祈ることは大切である。

# テサロニケの信徒たちのこと

- 「あなたがたが信仰によって働き、愛のために労苦し、また、わたしたちの主イエス・キリストに対する、希望を持って忍耐していることを、わたしたちは絶えず父である神の御前で心に留めているのです。」 (3節)
- 信徒たちの行い
  - ✓信仰のさまざまな働き
  - ✓愛のための労苦
  - ✓主イエス・キリストに対する、希望を持つての忍耐
- 一つひとつの行為の中に信仰、愛、忍耐が含まれている。
- パウロたちはそれらの具体的なことを知っていて、そのことのために神の御前で彼らを心に留めて神に感謝している。

# 労苦・忍耐の内にある喜び

- キリストが先に労苦なさり、忍耐された。
  - ✓ 労苦 労苦のない人生はない。神のために労苦することは喜び
  - ✓ 忍耐 神の御言葉に固く立ち続けること
- 私たちが生きていくのに**労苦せずにいることは不可能**である。どんなに苦勞しないようにしても必ず思い通りにいかなかったり、思いがけない出来事に遭遇する。
- 喜びとは自分の思い通りにできることではない。それができた時にも喜びはあるが、**もっと深い、満たされる喜び**がある。
- パウロやテサロニケの信徒たちはその喜びを知っていた。

# 福音が伝わるという奇跡

- わたしたちの福音があなたがたに伝えられたのは、ただ言葉だけによらず、力と、聖霊と、強い確信とによったからです。  
(5節)
- テサロニケの信徒たちの働きは宣教の働きであった。
  - ✓「宣教」 = 福音を広く告げて神の御旨を知らせること
  - ✓権力やお金などに頼らず、人々に福音を聞いてもらい、回心してもらう。
- 宣教する者の能力不足や限界を越えて、言葉の力、聖霊の働き、強い確信が福音を広める。

# 回心は起きる

- **内村鑑三**は内心の分離と霊魂の不安におののいていた。
- 米国アマスト大学のシーリー学長は東洋一の貧乏学生の内村のうちに非凡な才能と沈痛な魂とを認めた。
- シーリー学長のアドバイス 「君は子供のように植木鉢の木を引き抜いて根ばかり調べている。なぜ神と日光とにゆだねて、安んじて君の成長を待たないのか。内を見ず、外を見なさい。**自分を見ず、十字架上のキリストを仰ぎなさい。**」
- 内村はキリストの十字架のもとに身を投げて、キリストを仰いで罪の身のままに、汚れたままに、義とされ、きよめられるにいたった。キリストの十字架によって救われた。

# 回心後の内村鑑三の祈り（日記より）

- 神さま、わたしがあなたのもとにまいりますのは、私がきよい、汚れない、愛すべき人間であるからではありません。
- 私のうちにあなたが満ちてくださり、その結果、もっと真剣にあなたに祈り、もっと多くこの世界を愛し、もっと多くあなたの御言葉と真理とによって教えられたいからです。
- 私は自分の全き無能力と墮落とを認め、あなたの生命によって私をきよめたまえ、私には信仰がありません。あなたから信仰を賜らんことを。
- 私の愚かさをご覧になり、私の罪から私をきよめてください。



# テサロニケの信徒たちの喜び

- 「あなたがたはひどい苦しみの中で、聖霊による喜びをもって御言葉を受け入れ、わたしたちに倣う者、そして主に倣う者となり、マケドニア州とアカイア州にいるすべての信者の模範となるに至ったのです。」（6、7節）
- 「聖霊による喜び」は、自分の思い通りにできた喜びよりも、もっと深い満たされる喜び = 生きている実感
- パウロ達に倣い、主イエス様に倣う生き方をする喜び
- テサロニケの信徒たちは周辺の広い地域の信者の模範となった。

# パウロの喜び

- 「主の言葉があなたがたのところから出て、マケドニア州やアカイア州に響き渡ったばかりでなく、神に対するあなたがたの信仰が至るところで伝えられているので、何も付け加えて言う必要はないほどです。」（8節）
- パウロはテサロニケの信徒たちを自慢に思い、そのことを神に感謝していた
- 彼らの働きが知れ渡ったのは、彼らが福音を証ししていたから
  - ✓ 伝道の働きとは「悔い改めよ」と告げることではなく、悔い改めた自分たちを語ること。
  - ✓ 内村鑑三のように、自分の信仰を語ること

# テサロニケの信徒たちの証し

- 「彼ら自身がわたしたちについて言い広めているからです。すなわち、わたしたちがあなたがたのところでもどのように迎えられたか、また、あなたがたがどのように偶像から離れて神に立ち帰り、生けるまことの神に仕えるようになったか、更にまた、どのように御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを。」（9、10a節）
  - ✓どのように福音が語られ、それを聞いたか。どのように受け入れたか
  - ✓どのように神に立ち帰ったか
  - ✓どのように生ける神に仕えるようになったか⇒生き方を変えたか
  - ✓どんなにイエス様の再臨を待ち望んでいるか

# 御子についての証し

- 「この御子こそ、神が死者の中から復活させた方で、来るべき怒りからわたしたちを救ってくださるイエスです。」 (10b)
- これこそ最大のポイント
- 今も生きておられて私たちのために執り成しをしてくださっている主イエス様を証しする
- 神の怒りを免れる方法がある
  - ✓ イエス様の救いを信じる
  - ✓ イエス様の救い以外のどんな救いもないことを信じる
    - 財産、健康、家族 救われない
    - 高価な置物、高額献金 救われない

# 御子の本質

- わが栄光が通り過ぎるとき、わたしはあなたをその岩の裂け目に入れ、わたしが通り過ぎるまで、わたしの手であなただを覆う。わたしが手を離すとき、あなたはわたしの後ろを見るが、わたしの顔は見えない。」（出33:22-23）
- モーセ 「栄光を示してください」
- 神は栄光を現わされたが、神の顔を見ることは許されなかった。
- しかし神の後ろ姿を見ることは許された。
  - ✓ 神の後ろ姿 御子イエス・キリスト
  - ✓ 御子キリストによって、怒りと裁きの神は愛と慈しみの神であることが示された

# 理由なしの選び

- 「神に愛されている兄弟たち、あなたがたが神から選ばれたことを、わたしたちは知っています。」（4節）
- テサロニケの町のほんの少しの人がキリスト者になった
- なぜ神は全員を救いにあずからせないのか
  - ✓神はご自身の自由において選びをおこなわれる（ロマ9:7-13）
  - ✓神は天地を治めておられる主権者。
  - ✓神の信義は不変だから、すべての人を救いに導く御意思は不変
- キリスト者になった人はキリストのために労苦することを喜び、キリストに倣う生き方を求める

# キリストに倣う生き方をし、主を証ししよう

- 私たちの人生は神の御国へ向かう旅路
- キリストに倣う生き方は深く満たされる喜び
- 福音を証しするのに資格は不要
- 喜びをもって生き、喜びをもって証ししよう
  - ✓ クリスマスは近い
  - ✓ キリストにある生き方を喜ぼう
  - ✓ わざわざ引き受ける苦労は喜び 主が豊かに祝してくださる
  - ✓ 礼拝やコンサート 家族や友人を誘おう

荒野を迷う者の神さま、

あなたは私たちの前を歩かれる光、導き。

私たちをわざわざいから導き出してください。

悲しみの時に支えてください。

御国にお連れください。

私たちはあなたの備えられた道を歩みます

アーメン